

令和6年度
小学校高学年教科担任制モデル校
実践事例集



鹿児島県教育庁義務教育課

目次

鹿児島市

鹿児島市立城南小学校	1
鹿児島市立桜洲小学校	2

鹿児島地区

日置市立鶴丸小学校	3
いちき串木野市立生福小学校	4

南薩地区

指宿市立柳田小学校	5
南さつま市立加世田小学校	6

北薩地区

阿久根市立脇本小学校	7
薩摩川内市立可愛小学校	8

始良・伊佐地区

始良市立帖佐小学校	9
湧水町立吉松小学校	10

大隅地区

垂水市立垂水小学校	11
志布志市立伊崎田小学校	12

熊毛地区

西之表市立榕城小学校	13
南種子町立中平小学校	14

大島地区

龍郷町立円小学校	15
徳之島町立亀津小学校	16



松原小学校
(兼務校)

鹿児島市立
城南小学校
(本務校)

算数

○ 学校の概要

城南小学校 学級数 14学級 児童数 221人 教員数 21人
松原小学校 学級数 11学級 児童数 214人 教員数 19人

○ 担当教員の授業時数等

教科	学年	週時数	勤務校
算数	5年	10時間	城南小
算数	6年	5時間	城南小
算数	5年	5時間	松原小

本務校で5年生の算数を2クラス計10時間、6年生の算数を1クラス5時間、兼務校で5年生の算数を1クラス5時間担当している。

令和6年度小学校高学年教科担任制モデル校 実践事例

○ 令和6年度の成果

- ・ 担当教科に専念できるため、教材研究、教材作成に十分な時間を割くことができ、よりきめ細やかな個別指導も行うことができた。
- ・ 2校を兼任することで、より広範な学力分析や授業分析が行え、授業改善を図ることができた。また、ICTを活用した効果的な取組が行われた。
- ・ 中学校の教科担任制を見据え、中1ギャップの問題を未然に防ぐ取組を行うことができた。また、6年生では中学校とのつながりを意識した教科指導を実施することができた。

○ 令和6年度の課題

- ・ 本務校・兼務校の日課表の違いや、兼務校への移動時間の確保により、兼務校の時間割が固定化されてしまう。
- ・ 本務校では、欠席や学習の遅れがある児童に補充指導ができるが、兼務校では児童の性格や特性を十分に把握できず、個別指導の時間を確保することが難しい。
- ・ 取組の期間が限られているため、大きな成果が表れにくい。事業の継続により、更なる学力向上につながると考える。

○ 担当教員以外教科担任の状況

教諭	学年	学年	週時数
A	理科	5・6年	9時間
B	音楽	5・6年	4.2時間

理科専科Aが5年生の理科を2クラス計6時間、6年生の理科を1クラス3時間、音楽専科Bが5年生の音楽を2クラス計2.8時間、6年生の音楽を1クラス1.4時間担当している。



桜峰小学校
東桜島小学校
黒神小学校
(兼務校)

鹿児島市立
桜洲小学校
(本務校)

外国語

○ 学校の概要

桜洲小学校	学級数	7学級	児童数	59人	教員数	11人
桜峰小学校	学級数	4学級	児童数	31人	教員数	8人
東桜島小学校	学級数	5学級	児童数	25人	教員数	9人
黒神小学校	学級数	1学級	児童数	1人	教員数	2人

○ 担当教員の授業時数等

教科	学年	週時数	勤務校
外国語	5年	2時間	桜洲小
外国語	6年	2時間	桜洲小
家庭科	5年	1.7時間	桜洲小
家庭科	6年	1.6時間	桜洲小
国語(書写)	5年	1時間	桜洲小
外国語	5・6年(複式)	2時間	桜峰小
外国語	5・6年(複式)	2時間	東桜島小
外国語	5年	2時間	黒神小

本務校で5,6年生の外国語を計4時間,5,6年生の家庭科を計3.3時間,5年生の国語(書写)を1時間,兼務校で5・6年生(複式)及び5年生の外国語を各学校2時間,計6時間担当している。

○ 令和6年度の成果

- ・ 中学校への接続を考慮し,指導内容の系統性を意識した授業を行うことができた。
- ・ 最初の学校で行った授業での気づきを次の学校で生かすことができ,授業改善に繋げることができた。
- ・ 外部との交流活動を計画的に設けることができ,児童の学びの意欲や実践的なコミュニケーション能力が高まってきた。

○ 令和6年度の課題

- ・ 学校間の移動があるため,その日のうちに授業後の個別指導や課題の見届け等を十分行うことができないことがあった。
- ・ 外部と交流を行う際は,各学校の児童の実態や学校行事等に配慮して企画し,実施する必要がある。
- ・ 各学級の児童の様子は日々異なるので,授業前に担任と情報共有をしたうえで指導に臨む必要がある。

○ 担当教員以外教科担任の状況

教諭	学年	学年	週時数
A	音楽	3~6年	6.2時間
B	理科	5・6年	6時間

5年担任Aが3~6年生の音楽を計6.2時間,支援学級担任Bが5・6年生の理科を計6時間担当している。



日置市立 鶴丸小学校 (本務校)

伊作田小学校
湯田小学校
上市来小学校
美山小学校
(兼務校)

外国語

○ 学校の概要

鶴丸小学校	学級数	9学級	児童数	160人	教員数	15人
伊作田小学校	学級数	6学級	児童数	57人	教員数	9人
湯田小学校	学級数	13学級	児童数	226人	教員数	18人
上市来小学校	学級数	4学級	児童数	21人	教員数	7人
美山小学校	学級数	4学級	児童数	33人	教員数	7人

○ 担当教員の授業時数等

教科	学年	週時数	勤務校
外国語	5・6年	4時間	鶴丸小
外国語	5・6年	4時間	伊作田小
外国語	5・6年	4時間	湯田小
外国語	5・6年	4時間	上市来小
外国語	5・6年	4時間	美山小

本務校及び兼務校で5・6年生の外国語をそれぞれ1クラス、計4時間ずつ担当している。

○ 令和6年度の成果

- ・ 令和6年度全国学力・学習状況調査の質問紙において、「英語の授業はよくわかります」と答えた児童が、65%いた。全国平均と比べて19ポイント高かった。
- ・ 専門性の高い外国語の学習において、外国語専門教員が5・6年生に「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと」、「書くこと」の言語活動を通して、外国語によるコミュニケーションの資質・能力の向上が図られた。
- ・ 担当教員が、中学校区の全小学校を担当することで、指導による学校間の学力差の解消につながった。

○ 令和6年度の課題

- ・ 本務校と兼務校の時間割が違ふことで、授業の開始時刻を考えての学校間の移動が大変であった。また、行事等の変更による学校間の調整も必要である。
- ・ 中学年の外国語活動と高学年の外国語の授業の在り方や進め方について、連携を図る必要がある。

○ 担当教員以外教科担任の状況

教諭	学年	学年	週時数
A	理科	5～6年	6時間
A	図画工作	5～6年	4時間

専科が、5年生と6年生の理科を6時間、図画工作を4時間、担当している。



照島小学校
市来小学校
(兼務校)

いちき串木野市立
生福小学校
(本務校)

理科

○ 学校の概要

生福小学校	学級数	7学級	児童数	48人	教員数	13人
照島小学校	学級数	9学級	児童数	150人	教員数	13人
市来小学校	学級数	11学級	児童数	244人	教員数	16人

○ 担当教員の授業時数等

教科	学年	週時数	勤務校
理科	5年	3時間	生福小
理科	6年	3時間	生福小
理科	6年	3時間	照島小
理科	5年	3時間	市来小
理科	5年	3時間	市来小

本務校で5・6年生の理科を1クラスずつ計6時間、兼務校で、5年生の理科を2クラス計6時間、6年生1クラス計3時間担当している。

○ 令和6年度の成果

- ・ 理科学習では、実験や観察の準備、片付け等に多くの時間を要するが、高学年に加え、中学年の授業準備も教科担任制加配が担当したことで、中学年の学級担任の負担が軽減された。
- ・ 各校の実態に応じて専門的な指導を行ったことで、学習意欲が高まった。鹿児島学力・学習状況調査において、県平均を上回った。
- ・ 各学校の理科担当と情報を共有し、実験の準備や予備実験を共同で行うなど、学習指導の改善を図ったことで、互いの指導力が高まった。
- ・ 担任の担当教科が減り、時間的余裕をもって学級経営を行い、児童と関わる時間が増えたことで、落ち着いて学校生活を送ることができている。

○ 令和6年度の課題

- ・ 1校あたりの勤務日数や授業時数等に限りがあるため、児童理解に基づいた、個に応じた指導に限界がある。
- ・ 実験準備や生育等について、各学校の理科担当との連携が大切である。
- ・ タブレット端末等を使用する際、学校ごとに端末やタブレットを準備する必要があった。同じタブレット端末で、市内のどの学校でもつなぐことができれば、より効率的に授業準備ができると感じた。

○ 担当教員以外教科担任の状況

教諭	学年	学年	週時数
A	外国語	5. 6年	4時間

SET加配Aが5・6年生の外国語を1クラスずつ計4時間担当している。



指宿市立
柳田小学校

算数

○ 学校の概要

柳田小学校 学級数 19学級 児童数 378人 教員数 27人

○ 担当教員の授業時数等

教科	学年	週時数	勤務校
算数	5年	10時間	柳田小
算数	6年	10時間	柳田小
音楽	2年	2時間	柳田小

5年生の算数を2学級計10時間、6年生の算数を2学級計10時間担当している。そのほか、2年生の音楽も2時間担当している。

○ 令和6年度の成果

- 専門性をもった教員が指導することにより、各学級の実態に応じた個別最適な学び・協働的な学びの充実を図ることができた。また、加配教員による授業は、初任者や教育実習生のよき手本となった。
- 高学年担任の授業時数削減によって、学級担任の教材研究の時間がより多く確保され、業務改善につながった。
- 加配教員と高学年担任が連携することで、児童が複数の教員に安心して相談することができ、生徒指導の充実にもつながった。

○ 令和6年度の課題

- 次年度も新体制で教科担任制を実施していく予定であるため、全職員による研修を充実させ、共通理解・共通実践を更に進めていく必要がある。
- 高学年での実践を踏まえ、低・中学年においても、教科担任制の様々な形態を追究していく必要がある。
- 高学年で教科担任制を実施したことにより、中学校でどのような効果が現れているか、検証していく必要がある。

○ 担当教員以外教科担任の状況

教諭	教科	学年	週時数
A	書写	4年	1時間
B	書写	2年	1時間
C	理科	3～6年	23.2時間
D	外国語	5・6年	4時間

6年担任Aが4年の書写を1時間、5年担任Bが2年の書写を1時間担当している。

また、理科専科Cが3～6年の理科を23.2時間、SET加配教員Dが5・6年の外国語を4時間担当している。



南さつま市立
加世田小学校

理科

○ 学校の概要

加世田小学校 学級数 32学級 児童数694人 教員数 47人

○ 担当教員の授業時数等

教科	学年	週時数	勤務校
理科	5年	12時間	加世田小
理科	6年	9時間	加世田小

5年生で理科を4クラス計12時間、6年生で理科を3クラス計9時間担当している。

○ 令和6年度の成果

- ・ 高学年7学級全てを教科担任が担当することで、学級担任の教材研究や教材準備の時間が確保され、授業改善につながった。
- ・ 学級担任と教科担任の連携により、多面的な児童理解と個別指導の充実が図られ、理科好きの児童が増えた。
- ・ 理科・音楽・家庭科などの専科担当制により、学級担任の負担が大きく軽減された。また、教師の役割分担が明確になり、業務の効率化が進んだ。

○ 令和6年度の課題

- ・ 高学年だけでなく低学年にも教科担任制を導入するための工夫が必要である。
- ・ 学力検査の結果を継続的に分析し、教科担任制の学力向上効果を明確にする必要がある。
- ・ すべての職員が教科担任制のメリットを理解し、教科分担の工夫を進める必要がある。
- ・ 家庭学習の見届けや補充学習の指導時間確保が課題である。

○ 担当教員以外教科担任の状況

教諭	教科	学年	週時数
A	音楽	4～6年	17.3時間
B	音楽	2・3年	6.5時間
B	家庭科	5・6年	11.9時間
C	理科	3・4年	19.8時間
D	算数	3・4年	20時間

音楽専科Aが11学級17.3時間、音楽専科Bが2年1学級、3年3学級6.5時間、家庭科を7学級11.9時間、理科専科Cが7学級19.8時間、算数専科Dが4学級20時間を担当している。

令和6年度小学校高学年教科担任制モデル校 実践事例 7



折多小学校
(兼務校)

阿久根市立 脇本小学校

算数

○ 学校の概要

脇本小学校 学級数 12学級 児童数 191人 教員数 17人
折多小学校 学級数 8学級 児童数 72人 教員数 12人

○ 担当教員の授業時数等

教科	学年	週時数	勤務校
算数	5年	10時間	脇本小
算数	5年	5時間	折多小

本務校で5年の算数を2クラス計10時間、兼務校で5年生の算数を1クラス計5時間担当している。

○ 令和6年度の成果

- 教科の専門性を生かした質の高い授業を展開することができ、学力向上につながった。
- 学級担任と教科担任が連携を図ることで、多面的な児童理解につながった。
- 高学年で専科授業を実施することで空き時間を確保したり、共通の教材を活用したり、少しずつ業務改善にもつながった。

○ 令和6年度の課題

- 欠席の児童がいた場合の授業の補充や家庭学習の見届けが必要な場合、十分な指導時間の確保が難しい。
- 日程変更や行事の実施に伴う時間割の調整を考慮する必要がある。
- 教科ごとに宿題が出されるので、教科担任間で子供の負担にならないように量や内容の調整が必要である。

○ 担当教員以外教科担任の状況

教諭	教科	学年	週時数
A	理科	3～6年	15時間
B	音楽科	5・6年	4.2時間
C	外国語科	5年	4時間
D	外国語科	6年	2時間
D	外国語活動	3・4年	3時間
E	中学校技術科	1～3年	4時間

理科専科Aが3～6年生5クラスの理科を15時間担当している。

中学校の音楽科担当Bが5,6年生3クラスの音楽科を4.2時間担当している。

中学校の英語科担当Cが5年生2クラスの外国語科を2時間担当している。

5年1組担任Dが3・4年生2クラスの外国語活動を3時間と6年生1クラスの外国語科を2時間担当している。

5年2組担任Eが中学校1～3年生の技術科を4時間担当している。



薩摩川内市立 可愛小学校

算数

○ 学校の概要

可愛小学校 学級数 28学級 児童数 684人 教員数 49人

○ 担当教員の授業時数等

教科	学年	週時数	勤務校
算数	5年	15時間	可愛小
算数	6年	5時間	可愛小

5年生で算数を3クラス(計15時間)、6年生で算数を1クラス(計5時間)担当している。(6年生は学期ごとに学級を変更して実施。)

○ 令和6年度の成果

- 算数専科教員は、担当教科の授業を複数クラス受け持つことで、授業での気づきや反省を次の授業に生かすことができる。また、今年度は、自由進度学習に取り組み、多様な学習形態で授業を行うことができた。
- 複数の教員が関わることで多面的な児童理解につながっており、学級担任と情報共有しながら授業を行っている。また、一人一人にあった個別最適な学習を進めることができる。児童にとっては、相談できる教員が増え、様々な教員から声を掛けられることから、自己肯定感や心の安定にもつながっている。
- 計画的に授業を進め、学年全体の進度をそろえることができる。

○ 令和6年度の課題

- 算数科で学んだことを他の教科でも生かせるように学級担任と連携した取組を工夫することが必要である。

○ 担当教員以外教科担任の状況

教諭	教科	学年	週時数
A	理科・図工	2・3・4年	21.7時間
B	理科・図工	2・5・6年	20時間
C	音楽	3～6年	20.6時間

理科専科Aが3・4年理科19.7時間と2年図工2時間で合計21.7時間、理科専科Bが5・6年理科18時間と2年図工2時間で合計20時間、音楽専科Cが3～6年の音楽を20.6時間担当している。



始良市立 帖佐小学校

算数

○ 学校の概要

帖佐小学校 学級数 23学級 児童数 468人 教員数 30人

○ 担当教員の授業時数等

教科	学年	週時数	勤務校
算数	5年	10時間	帖佐小
算数	6年	10時間	帖佐小

5年生で算数を2クラス計10時間、6年生で算数を2クラス計10時間担当している。

○ 令和6年度の成果

- ・ 算数専科が担当したことでより工夫された教材を計画的に準備し、全学級の授業に活かすことができた。
- ・ 専門的な立場から全クラスを担当することで、児童一人一人の課題を把握し、学級や学年の課題をより顕著に捉えることができた。課題に応じた指導法を工夫し、児童一人一人への細やかな対応が可能になった。
- ・ 各担任と情報交換する中で、他の教科の成果や課題と比較し、より学級や学年に必要な力を明確にすることができた。

○ 令和6年度の課題

- ・ 定期的なテストやアンケートを実施し、学習の理解度を把握する。教師間での情報共有を促進し、共通の課題を特定する。
- ・ 会議やワークショップを通じて、学習定着の重要性を共有する。成績データや観察結果を基に、具体的な改善策を議論する。
- ・ 学年ごとの実態に応じた教材やアプローチを開発する。先進的な技術を取り入れ、効果的な指導を実践する。

○ 担当教員以外教科担任の状況

教諭	教科	学年	週時数
A	音楽	4～6年	19.8時間
B	理科	4～6年	23.6時間

音楽専科Aが4～6年の音楽を19.8時間、理科専科Bが4～6年の理科を23.6時間担当している。



栗野小学校
(兼務校)

湧水町立
吉松小学校
(本務校)

算数

○ 学校の概要

吉松小学校 学級数 9学級 児童数 71人 教員数 16人
栗野小学校 学級数 11学級 児童数 173人 教員数 19人

○ 担当教員の授業時数等

教科	学年	週時数	勤務校
算数	5年	5時間	吉松小
算数	6年	5時間	吉松小
算数	6年	5時間	栗野小

本務校で5・6年生の算数を1クラスずつ計10時間、兼務校で6年生の算数を5時間担当している。

○ 令和6年度の成果

- ・ 高学年担任の持ち時数の軽減により、教材研究の時間や事務作業の時間が確保でき、業務改善につながった。
- ・ 教科担任として教科の内容を深く研究することができ、授業改善や学習者主体の授業づくりに生かすことができた。そのことが、児童の粘り強く課題に向き合う力や思考力・判断力・表現力の向上につながった。
- ・ 高学年担任との連携が深まり、学習指導だけでなく、生徒指導に関する内容についても情報共有ができた。

○ 令和6年度の課題

兼務校への移動に時間を要するため、児童への個別指導の時間が十分確保できなかった。また、兼務校児童の家庭学習の状況を十分見取ることができなかった。

○ 担当教員以外教科担任の状況

教諭	学年	学年	週時数
A	音楽	5・6年	3時間
A	家庭	5・6年	4時間
B	図画工作	5・6年	3時間
C	外国語	5・6年	4時間

専科担当教員Aが5・6年生の音楽と家庭科を1クラスずつ計7時間、小学校専科加配教員Bが5・6年生の図画工作を1クラスずつ計3時間、SET加配教員Cが5・6年生の外国語を1クラスずつ計4時間担当している。



水之上小学校
(兼務校)

垂水市立
垂水小学校
(本務校)

算数

○ 学校の概要

垂水小学校 学級数 15学級 児童数 315人 教員数 36人
水之上小学校 学級数 8学級 児童数 56人 教員数 16人

○ 担当教員の授業時数等

教科	学年	週時数	勤務校
算数	5年	10時間	垂水小
算数	5年	5時間	水之上小

本務校で5年生の算数を2クラス計10時間、兼務校で5年生の算数を1クラス計5時間担当している。

令和6年度小学校高学年教科担任制モデル校 実践事例 11

○ 令和6年度の成果

- ・ 専門性のある教員が指導することにより、系統性を見据えた授業が展開され、児童一人一人の課題を把握しやすく、個に応じた指導を適切に行うことができた。
- ・ 学級担任の授業時数減により、学級担任が他の教科の準備等をする時間が確保され、他の教科の学力向上につながった。
- ・ 複数の学校を兼務することにより、指導の統一性が図られたり、1回目の授業の反省を基に2回目の授業を改善したりして、より質の高い授業を行うことができた。
- ・ 配慮が必要な児童に効果的な指導方法について情報交換を行うことができた。

○ 令和6年度の課題

- ・ 教科の枠を超えた教科等横断的な学びの視点を取り入れていくことが難しかった。
- ・ 複数の学校を兼務することにより、互いの学校行事が重なり、時間割の調整が難しかった。

○ 担当教員以外教科担任の状況

教諭	学年	学年	週時数
A	音楽	2~6年	25時間
B	外国語	5・6年	8時間
C	理科	3・4・6年	18時間
D	理科	5年	6時間
E	社会	5年	6時間

教諭Aが2~6年生の音楽を10クラス25時間、教諭Bが5・6年外国語を4クラス8時間、C教諭が3・4・6年の6クラス18時間を担当している。また、5年生は、担任のD・E教諭の専門性を生かし、理科と社会の交換授業を実施している。



泰野小学校
山重小学校
(兼務校)

志布志市立
伊崎田
小学校
(本務校) 外国語

○ 学校の概要

伊崎田小学校	学級数 8学級	児童数 66人	職員数 14人
泰野小学校	学級数 7学級	児童数 46人	職員数 11人
山重小学校	学級数 7学級	児童数 50人	職員数 11人

○ 担当教員の授業時数等

教科	学年	週時数	勤務校
外国語	5年 6年	2時間 2時間	伊崎田小
外国語	5・6年	2時間	泰野小
外国語	5・6年	2時間	山重小
理科	6年	3時間	伊崎田小
英語	中学1年	4時間	伊崎田中

本務校で5・6年生の外国語を週4時間、6年生の理科を週3時間担当している。兼務校の泰野小学校と山重小学校で5・6年生の外国語を週2時間ずつ担当している。また、伊崎田中学校1年生の英語を週4時間担当している。

令和6年度小学校高学年教科担任制モデル校 実践事例 12

○ 令和6年度の成果

- ・ 高学年の外国語を専科が担当することにより、高い専門性のもと授業の質が高まり、児童も意欲的に取り組むことができた。
- ・ 本務校と兼務校が連携することにより、ICTを活用して作品等の相互交流を図ることができた。教材・教具の共有も行えた。
- ・ 小学校外国語専科が、中学校に乗り入れすることにより、小中連携が円滑に図られ、中1ギャップの解消につながった。
- ・ 近隣の学校との情報共有を活発に図ることができた。

○ 令和6年度の課題

- ・ 教科等横断的な学びの視点を取り入れていくことが難しかった。
- ・ 他の学校と兼務していることもあり、互いの学校行事など重なると時間割の調整が難しかった。
- ・ 複数校を兼務しているために本務校の学校行事等に参加できないことがあった。

○ 担当教員以外教科担任の状況

教諭	教科	学年	週時数
A	音楽	5～6年	4時間
A	家庭	5～6年	4時間
B	国語	5～6年	10時間
C	算数	5～6年	10時間
D	社会	6年	3時間

専科Aが5・6年の音楽と家庭を週8時間担当。教諭Bが5～6年の国語を週10時間担当。教諭Cが5～6年算数を週10時間担当。6年社会に中学校社会科教諭Dが週3時間乗り入れている。



西之表市立 榕城小学校 (本務校)

下西小学校
(兼務校)

外国語

○ 学校の概要

榕城小学校 学級数 23学級 児童数 440人 教員数 33人
下西小学校 学級数 7学級 児童数 78人 教員数 11人

○ 担当教員の授業時数等

教科	学年	週時数	勤務校
外国語	5年	6時間	榕城小
外国語	5年	2時間	下西小
外国語	6年	4時間	榕城小
外国語	6年	2時間	下西小

本務校では5年生の外国語を3クラス計6時間、6年生の外国語を2クラス計4時間担当している。
兼務校では5・6年生の外国語を1クラスずつ計4時間担当している。

○ 令和6年度の成果

- ・ 専門性のある教員が指導することによって、より高いレベルでの授業を行うことができ、学力向上につながっている。
- ・ 教科担任制にすることにより、教える教科を分担することができ、教材研究や授業準備の負担軽減につながっている。
- ・ 複数の教員が学級に関わることで、より多くの人で児童を見ることができ、担任だけでは気付かないきめ細かな児童理解につながっている。
- ・ 同じ中学校に進学する小学校間で外国語の授業を兼務することによって、学校間での指導の相違を減らすことができ、中学校での英語の学習にスムーズに移行することができる。

○ 令和6年度の課題

- ・ 特別時間割の編成や調整が複雑になる。
- ・ 担当しない教科が増えることによって、教科の枠を超えた教科等横断的な指導が難しくなる。
- ・ 多くの児童と関わるため、配慮の必要な児童等について年度初めにしっかりと共通理解する場を設定する必要がある。

○ 担当教員以外教科担任の状況

教諭	学年	学年	週時数
A	理科	5年	9時間
A	理科	6年	6時間
B	音楽	5年	6時間
B	音楽	6年	4時間

理科専科Aが5・6年生の理科を5クラス15時間担当している。
音楽専科Bが5・6年生の音楽を5クラス10時間担当している。



南種子町立
中平小学校 算数
理科

○ 学校の概要

中平小学校 学級数 8学級 児童数 170人 教員数 13人

○ 担当教員の授業時数等

教科	学年	週時数	勤務校
算数	5年	5時間	中平小
理科	5年	3時間	中平小
算数	6年	5時間	中平小
理科	6年	3時間	中平小

5, 6年生で算数と理科
計16時間担当している。

○ 令和6年度の成果

- ・ 加配教員が継続して担当したことにより、教科の専門性が一層高められた。その結果、児童は、より質の高い学びをするようになった。
- ・ 授業や校務、生徒指導に当たる時間等が確保されたことで、校務分掌や教材研究、児童と向き合う時間が増え、業務が充実するようになった。
- ・ 加配が配置された2年間で、全国学力・学習状況調査及び鹿児島学力・学習状況調査において学力の伸びが見られた。

○ 令和6年度の課題

- ・ 年度当初で時間割調整を丁寧に行ってきたが、年度途中で起こった突発的な課題への対応に充てられることが多い。それらの課題について引き続きマネジメントを行う必要がある。
- ・ 教材研究の時間の確保が、教師の授業改善へと結び付いてはきたが、今後も学習者主体の授業を目指した取組を一層推進したい。

○ 担当教員以外教科担任の状況

教諭	教科	学年	週時数
A	音楽	6年	2時間
B	家庭	5年	1時間
B	国語(書写)	2年	1時間
C	外国語	5, 6年	4時間

6年担任AとBがそれぞれの専門性を生かして交換授業を行っている。Bは、2年生の国語(書写)を週1時間、SET加配教員Cが5・6年生の外国語を週4時間担当している。



龍郷町立
円小学校
(本務校)

秋名小学校
龍郷小学校
(兼務校)

理科

○ 学校の概要

円小学校	学級数	3学級	児童数	7人	教員数	6人
秋名小学校	学級数	5学級	児童数	21人	教員数	8人
龍郷小学校	学級数	5学級	児童数	18人	教員数	9人

○ 担当教員の授業時数等

教科	学年	週時数	勤務校
理科	3年	3時間	円小
	5年	3時間	
	6年	3時間	
	5年	3時間	秋名小
	6年	3時間	
	5年	3時間	龍郷小
	6年	3時間	

本務校で5・6年生の理科を1学級週3時間担当した。また、5・6年生の授業以外では、3年生の理科も指導している。また、兼務校にて、5・6年生の理科を週3時間ずつ担当している。計21時間の専科授業を担当している。

○ 令和6年度の成果

- ・ 専門性のある教員が指導することにより、学力の定着・向上に上げることができた。
- ・ 各校の学級担任の授業時数を減らせることから、担当校務の仕事や教材研究、その他の学級経営の諸準備に充てる時間が増え、これまでの負担を軽減させることができた。
- ・ 兼務する3校間で教材を調整しながら共有することで、子供たちの個別の実験が可能となり、集中力を高めさせることができた。

○ 令和6年度の課題

- ・ 各兼務校での、ヘチマやアサガオ、メダカ等の生物の管理が難しかった。また、プラカップ等の消耗品の購入では、各校ごとの申請に手間取った。
- ・ 兼務校の児童の生徒指導面を含む実態把握に時間を要した。
- ・ 各学校で、行事の開催やそれに伴う校時の変更等があり、絶えず確認しながら移動する必要があるため、時刻や交通安全には、大変気を遣った。

○ 担当教員以外教科担任の状況

教諭	学年	学年	週時数
A	音楽	全校	2時間
	社会	3年	2時間
	社会	5年	5時間
	総合	3年	2時間
	道徳	3年	1時間
B	体育	全校	3時間
C	外国語	5年	2時間
		6年	2時間
	外国語活動	3年	1時間

特別支援学級担任Aが全校の音楽や複式の下学年学級の3年生と上学年学級の5年生の社会科、3年生の総合的な学習の時間と道徳の計8時間を、5・6年学級担任Bが全校での体育2時間をそれぞれ担当した。また、龍郷小のCが外国語・外国語活動を、計5時間担当した。



徳之島町立 亀津小学校

算数

○ 学校の概要

亀津小学校 学級数 18学級 児童数 359人 教員数 26人

○ 担当教員の授業時数等

教科	学年	週時数	勤務校
算数	5年	10時間	亀津小
算数	6年	10時間	亀津小

5年生で算数を2クラス計10時間、6年生で算数を2クラス計10時間担当している。

○ 令和6年度の成果

- ・ 複数の教師で関わるため、多くの情報交換を行うことができ、児童理解が深まった。
- ・ 複数のクラスを教えることで授業の中で感じた課題を速やかに修正・改善できるとともに、同学年での学力の差が減少してきた。
- ・ 十分な教材研究の時間が確保された上に担当する教科も減ったので、教材研究の質が向上し、結果として児童の学習意欲の向上につながった。
- ・ 児童にとっては、中学校に類似した教科担任制を経験することができ、中学校入学時の際のギャップを和らげることができてきた。
- ・ 高学年担任が中学年の教科を一部担当したり、中学年担任同士で交換授業（国・算）をしたりして、教科担任制の拡充を図ることができた。

○ 令和6年度の課題

- ・ 高学年教科担任制による学力面の成果を明確にすることができなかった。各種学力調査の結果や単元テストの結果をもとに総合的に成果を分析していきたい。
- ・ 令和5年度4月からの1学期間は、5・6年担任・専科による完全教科担任制を行った。しかし、担任がこれまでよりも学級の児童と関わる時間が減ったことで、生徒指導面での課題が明らかになった。現在は、交換授業を基盤とした教科担任制で指導を行うようにした。

○ 担当教員以外教科担任の状況

教諭	教科	学年	週時数
A	社会、家庭、図工、外国語	6年	20時間
B	国語、体育	6年	19.2時間
C	国語、体育	5年	21.2時間
D	社会、家庭、図工、外国語	5年、3年	20.2時間
E	理科	4・5・6年	18時間
F	音楽	3・4・5・6年	12.4時間

5年、6年担任が、交換授業をする体制を基本とし、算数、理科、音楽を専科教員が指導する。また、総合、道徳、学活は、各担任が指導する。
それぞれの担当週時数は、20時間前後となる。